

平成24年度第2回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成25年1月11日15時30分から、秋田商工会議所ホール80において、秋田市中心市街地活性化協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

(議事内容)

- 場 所 秋田商工会議所 7階 ホール80
- 出席者 委員：16名 オブザーバー：4名
- 協 議 (1) 秋田市中心市街地活性化基本計画の計画期間延長について
(2) 秋田駅西口ターミナル建替えについて
- 報 告 (1) 「秋田市大町コミュニティ再生事業」の進捗状況について
(2) 「アートの回廊形成事業」の取組みと「アーケード撤去およびアーケード支柱を活用した街路灯整備事業」の補助金申請について
(3) 「エリアなかいち」の現況について情報提供
(4) 「秋田市への要望」結果について
(5) 平成24年度秋田市中心市街地活性化協議会事業の進捗状況について

結果報告

渡邊靖彦会長が開会挨拶を行った後、会議の進行をした。

協議(1)「秋田市中心市街地活性化基本計画の計画期間延長について」は秋田市都市整備部まちづくり整備室三浦副参事が説明。協議内容は原案のとおり承認され、平成26年6月まで(1年3カ月)期間延長の計画変更の認定申請を内閣府へ提出することとした。協議(2)「秋田駅西口ターミナル建替えについて」は事務局より概略説明後、秋田中央交通(株)伊藤専務(当協議会委員)より経緯説明をした。その後、事務局より、秋田県および秋田市に対する要望について説明、協議内容は原案のとおり承認され、後日、秋田県および秋田市に対し、秋田駅西口バスターミナル建替えへの支援を要望することとした。(1月15日：県、1月16日：市へ要望)

次に、報告(1)「秋田市大町コミュニティ再生事業の進捗状況について」は秋田市大町商店街高堂理事長より報告。報告(2)「アートの回廊形成事業の取組みとアーケード支柱を活用した街路灯整備事業の補助金申請について」は秋田市広小路商店街佐々木理事長より報告。報告(3)「エリアなかいちの現況について情報提供」は中通一丁目地区市街地再開発組合高橋理事長、畠山事務局長が報告。報告(4)「秋田市への要望結果について」および報告(5)「平成24年度秋田市中心市街地活性化協議会事業の進捗状況について」は事務局より報告した。

その後、意見交換に移り、委員から次のような意見や質問が出され、各担当者から説明があった。

< 質疑応答 >

協議（１）秋田市中心市街地活性化基本計画の計画期間延長について

- ・特に意見なし

協議（２）秋田駅西口バスターミナル建替えについて

佐々木委員（NPO 法人 秋田バリアフリーネットワーク）

- ・バスについては、採算路線の見直しも含め、将来的にコンパクトシティを目指すのなら、現在市内全線が秋田駅前に集中しているバス路線を整理する必要があるのではないか。また、バスターミナルの建替えを機会に、秋田駅前周辺の修景の見直しも必要であるため、広く意見を求めてみてはいかがか。

伊藤委員（秋田中央交通㈱）

- ・現行では、市内中心部については地方交通が担い、その他外側地域についてはマイタウンバスが運行を担っている。現在は、以前よりかなり系統が整備されてきており、特に飯島北方面ではマイタウンバスの利用者が増えている。今後、都市交通を維持するためには、系統の統合が不可欠であると考えている。

高堂委員（秋田市大町商店街振興組合）

- ・バスターミナルの建替えについては問題はなく賛成である。

秋田駅前を利用するたびに交通整理が必要であると思う。駅前へ入ってくる送迎の車や、駐車場の位置など、駅前の交通全体を考えてみてはどうか。例えば、車を地下へ誘導するシステムや、現在の広さでは難しいがロータリー式の誘導システム等将来的には考えていかなければいけないことだと思う。コンパクトシティを目指す起点として、お金も時間もかかるが何かよい方策を打ち出してみてもどうか。

報告（２）「アートの回廊形成事業の取組み」と「アーケード支柱を活用した街路灯整備事業の補助金申請」について

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合）

- ・大町商店街や広小路商店街で取り組んでいる事業を、中心市街地活性化基本計画の中に入れ、事業としてきちんと位置づけていただきたい。

三浦副参事（秋田市都市整備部まちづくり整備室）

- ・詳細な回答はできないので、後日、相談させていただきたい。

報告（３）「エリアなかいち」の現況について情報提供

藤本委員（ノースアジア大学教授）

- ・「エリアなかいち」がオープンし、中心市街地の活性化につながっていると思うが、冬場で天候が悪い状況ということで、利用しにくいという声を聞くようになった。

ショッピングや飲食店は高級感がありよいとは思いますが、若い人を含めて、「エリアなかいち」に足を運びたくなる要素がどのくらいあるのか。イベント以外でも集客力の

ある企画が必要ではないか。

「エリアなかいち」の利用者アンケートを実施しているのか。

畠山事務局長（中通一丁目地区市街地再開発組合）

・「エリアなかいち」には各々運営主体があるが、利用者アンケートについてはにぎわい交流館で実施している。

当初は、にぎわい交流館については、貸館施設であるため、設備の利便性についての苦情が多く、例えば、ハンガーが無いとか具体的な声が多かった。その要望については個別に対応している。

駐車場については、表示がわかりにくい、駐車場内をどっちに曲がったらいいかわからない等の声が多かった。その要望についても対応可能なものに対しては、看板の設置等に対応している。

商業施設については、総合受付でアンケートをしている。

各施設ごとに、利用者から意見があれば承り対応している。

報告（４）「秋田市への要望」結果について

渡邊会長

・仲小路振興会新開会長へお聞きしたいが、アーケードについて会員の総意としてどうなのかお話しいただきたい。

新開委員（仲小路振興会）

・「エリアなかいち」オープンから３商店街連携でのイベントを実施するにあたり、行政および商工会議所にはご協力をいただきこの場を借りて御礼申しあげたい。

アーケードについて地元では、大屋根のようなハードなものではなく、アーケードに準ずるもので低コストの簡易な全天候型のものでいいということで合意形成はできている。しかし、いざアーケードを設置する覚悟があるのかというと、仲小路は零細商店の多い中で成り立っている商店街であるため、イベント実施の経費を捻出するのもしっぱいな状態である。その中で、希望としてはアーケードは欲しいが、何年も負債を抱えて支払っていくのは辛いものがある。そのため、表面きって、商店街から要望をすると、行政頼みでおんぶにだっこだとお叱りを受けることがわかるっているので、まだ、そこまでには至ってないというのが正直な現状である。

しかし、地元から言い出さないと始まらないと考えている。今後、行政や商工会議所と打合せをしたいと思っているので協力いただきたい。

渡邊会長

・早めにしかるべく対応ができるように検討していただきたい。

岩本専務理事

・アーケードについては、仲小路振興会だけの問題というより、まさに秋田市中心市街地全体の活性化につながるものである。当所より秋田市へ要望し、秋田市からも地元の合意形成があればと言っているのだから、当所としても会員個別に伺うことはできないとしても、仲小路振興会員の皆さんと意見交換の場を設けるなどして支援して進めていきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合）

・現在、国の補助金は3分の2の補助しかない。そのため、商店街で3分の1を負担しなければいけないが、その金額を負担できる商店街は無いに等しい。アーケード等の事業を実施している地方都市の商店街では、行政が商店街負担分3分の1のほとんどを支援しており、商店街自体の負担は2～3%で事業を実施している。そのためには、補助メニューの情報には即対応できる形にしてほしい。協議会自体に起動力が必要である。即、対応していかなければ乗り遅れてしまう。

渡邊会長

・アーケードの件も含め中心市街地に必要な施設の問題について、行政に対しては、今までのような支援では何も出来ないのでは、思い切ったやり方をさせていただきたいと思っている。会議所自体でも、この問題については行政へ側面からアプローチを試してみてもいいのではないかと考えている。

岩本専務理事

・主旨は十分わかった。しかし、行政が支援するにあたっては、何と云っても商店街のやる気に対して支援をするというのが土台になっていると思う。その部分を示しながら進めていった方がいいのではないかと考えている。土台づくりは、当所として支援していきたいと考えている。